

平成21年度シラバス(国語)

学番5 新潟県立新潟西高等学校

教科(科目)	国語(古典)	単位数	5単位	学年(コース)	3学年(学励コース・文型)
使用教科書	第一学習社「高等学校 古典 古文編」「高等学校 古典 漢文編」				
副教材等	河合出版「ステップアップノート30」「コゴタロウのセンター古語・用法・文法」 尚文出版「必携明説漢文」				

1. 学習目標

語句の意味・用法及び文の構造を的確に捉え、文章を理解する力を高めるとともに、作品に現れた思想や感情を読み取り、ものの見方や考え方を広げ、人生を豊かにする態度を身につける。

2. 指導の重点

自分の力で古文・漢文の解釈ができること目指します。一・二学年に学んだ文法的知識を使いこなしたうえで辞書などを十分に活用して現代語訳ができることと、重要古語や重要漢字への知識を深めることで、作品に表現された思想や感情を読み取るための学力を身につけます。

3. 学習計画

月	学習項目	主要学習領域・学習活動(指導内容)・教材	時間	評価方法
4	説話『沙石集』 「歌ゆゑに命を失う事」	(関心・意欲・態度)(読むこと)(知識・理解) ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	7	小テスト 定期考査 授業への取り組み
5	逸話「不死之道」	(読むこと)(知識・理解) ・古代中国のものの見方、考え方を味わう。	4	定期考査 授業への取り組み
	随筆『枕草子』 「二月つごもりごろに」 「宮に初めて参りたるころ」	(関心・意欲・態度)(読むこと)(知識・理解) ・敬語表現に留意し主語などを補いながら読む。 ・当時の宮中の生活について理解を深める。	10	小テスト 定期考査 授業への取り組み
中間考査				
6	評論『俊頼髄脳』 「沓冠折角の歌」 『無名抄』「深草の里」	(読むこと)(知識・理解) ・和歌の技法や表現されている心情を理解する。 ・敬語表現にも留意しながら読む。	6	小テスト 定期考査 授業への取り組み
	史記「張儀・吾が舌を視よ／辱められて怒る／何ぞ敢へて言はん」	(読むこと)(知識・理解) ・基本の句形に習熟する。 ・遊説家と呼ばれる人々の生き方を理解する。	7	定期考査 授業への取り組み
	日記『蜻蛉日記』 「うつろひたる菊」 『紫式部日記』 「若宮誕生」	(読むこと)(知識・理解) ・平安時代の婚姻形態を理解し、筆者の置かれている状況と心情を把握する。 ・和歌の技法や表現されている心情を理解する。	10	小テスト 定期考査 授業への取り組み
期末考査				
7	評論『去来抄』「行く春を」	(読むこと)(知識・理解) ・俳句に対する筆者の思想を読み取る。	2	授業への取り組み
9	思想『莊子』「混沌」 「曳尾於塗中」	(読むこと)(知識・理解) ・常識的な考え方と比較しつつ、莊子の思想の特徴を把握する。	4	小テスト 定期考査 授業への取り組み
	物語『源氏物語』 「須磨の秋」 「住吉参詣」	(読むこと)(知識・理解) ・文学史的価値を理解する。 ・場面や人物の心理を的確に捉える。	12	小テスト 定期考査 授業への取り組み
10	史記「優孟・莊王の愛馬の死」	(読むこと)(知識・理解) ・戦国時代の人間の生き方について考える。	4	定期考査 授業への取り組み
中間考査				
11	史記「優孟・楚の相は為るに足らざるなり」	(読むこと)(知識・理解) ・史記の表現を味わい、作者司馬遷の人間観の一端に触れる。	5	定期考査 授業への取り組み
	物語『大鏡』「兼通と兼家」 「道真と時平」	(読むこと)(知識・理解) ・文学史的価値を理解する。 ・場面や人物の心理を的確に捉える。	15	小テスト 定期考査 授業への取り組み
12	漢詩「碩中作」「月夜」	(読むこと)(知識・理解) ・漢詩のきまりを復習する。 ・場面や人物の心理を的確に捉える。	2	小テスト 定期考査 授業への取り組み
	センター演習	(読むこと)(知識・理解) ・これまで身に付けた知識を用いて正確な読み取りをする。	8	授業への取り組み
期末考査				
12 1 2	センター演習	(読むこと)(知識・理解) ・これまで身に付けた知識を用いて正確な読み取りをする。	15	授業への取り組み

4. 課題・提出物等

- ・週一回の小テストを行います。内容は古文単語・古文文法・漢文句形などとなります。
- ・定期考査後は復習プリントを課題とします。
- ・その他の課題・提出物はその都度指示します。

5. 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います				
(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(技能・表現)	(知識・理解)	(知識・理解)
関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重し、すすんで表現し理解し伝え合ううとしていくか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。	自分の考えをまとめたり深めたり発展させたりしながら、相手を目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書いているか。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり親しんだりしているか。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけているか。
上記の観点を踏まえて、授業への取り組み(授業態度、学習への参加状況など) 提出物・小テスト 定期考査・課題テストなどから、総合的に評価します。				

6.担当者からの一言

真の能力は自ら行動することでは身につけません。必ず自分で予習をしてから授業に臨んでください。予習をする際には自分がこれまでに学習した知識を総動員することになりますから、予習は実は復習にもなっているのです。自分の知識をどれだけ使いこなせるかという応用力と、なぜそうなるのかを考える力が常に求められるのだということを忘れないでください。